



飛行学校から特攻基地へ

知覧の人々と特攻隊



令和2年 2月11日(火)～3月23日(月)

女学生が特攻隊の方々と歌った歌本



開催場所

呉市海事歴史科学館

大和ミュージアム(1階ガイダンスルーム)

【開館時間】9:00～18:00

【休館日】火曜日(2月11日は祝日のため開館、翌12日が休館)

【観覧料】1階ガイダンスルーム 無料

常設展 一般:500円、高校生:300円、小中学生:200円

呉で知覧の歴史にふれる

2月23日(日)

語り部の講話を行います

11:00～/14:00～(各40分)

大和ミュージアム4階 研修室

知覧の語り部が、特攻作戦の概要、隊員の遺書・手紙を解説します。

主催 / お問い合わせ

知覧特攻平和会館

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡17881番地

TEL:0993-83-2525 FAX:0993-83-4859

呉市海事歴史科学館

大和ミュージアム

〒737-0029 広島県呉市宝町5番20号

TEL:0823-25-3017 FAX:0823-23-7400

展示のご案内

知覧飛行場は1941(昭和16)年12月、陸軍の飛行学校として歴史が始まり、少年飛行兵や特別操縦見習士官の操縦教育がおこなわれました。

そして、飛行場には地元から採用された知覧の人々が事務員や整備員として勤務し、飛行場はとても身近な存在でした。

1945(昭和20)年3月末、戦況の悪化により知覧飛行場に特攻隊が進出してきました。

女学生は三角兵舎で隊員の身の回りの世話をする奉仕につき、婦人会や小学校の児童は慰問に訪れるなど、特攻基地となっても交流の機会がありました。

本展示では、知覧飛行場の歴史とともに、知覧の人々と特攻隊員との交流を紹介致します。

知覧の人々と特攻隊の記録

「特攻日記」

特攻隊が知覧飛行場にやってくると、隊員の身の回りのお世話をするため、地元の知覧高等女学校に奉仕の依頼がありました。

14~15歳の女学生が三角兵舎に赴き、洗濯や裁縫、清掃などをおこないました。

女学生の1人、前田さんは隊員との交流を絶対に忘れてはいけないと日記に書き留めました。



「四月十二日」

(前略)

二〇振武の穴澤機が目の前を行きすぎる。一生懸命お別れのさくら花を振るとにつこり笑った。きりり鉢巻姿の穴澤さんが何回と敬礼なさる。

パチリ…

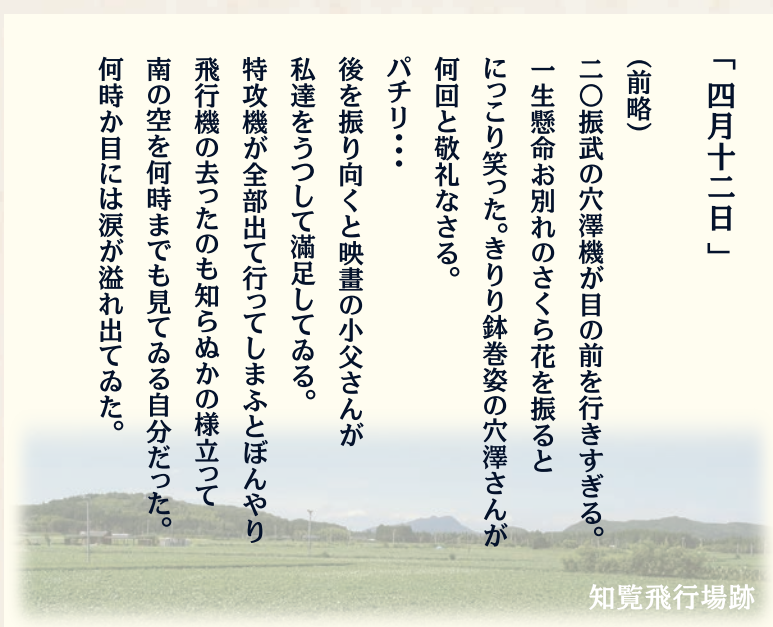
後を振り向くと映畫の小父さんが

私達をうつつして満足してゐる。

特攻機が全部出て行つてしまふとぼんやり飛行機の去つたのも知らぬかの様立つて

南の空を何時までも見てゐる自分だった。

何時か目には涙が溢れ出てゐた。



知覧飛行場跡

【パネル展示】

- 飛行学校から特攻基地への変遷
- 特攻隊員の生活
- なでしこ隊／特攻日記
- 特攻隊員と住民との交流

【資料展示】

- 特攻日記(レプリカ)
- 特攻隊員の遺書・手紙(レプリカ)

【映像展示】

- 知覧飛行場の歴史

知覧特攻平和会館



知覧特攻平和会館

〒897-0302

鹿児島県南九州市知覧町

郡17881番地

TEL:0993-83-2525

FAX:0993-83-4859



URL:<http://www.chiran-tokkou.jp/>

爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たりした陸軍特別攻撃隊員の遺影、遺品、記録等貴重な資料を収集・保存・展示しています。

当時の真情を後世に正しく伝え、平和の大切さ、命の尊さを語り継ぎ、世界恒久の平和に寄与するものです。



遺品室「隊員の遺影・遺書・手紙」

